

身の回りの危険

明光小学校 永井 絆菜

みなさんは登下校中に黄色の安全帽子をかぶっていますか？

そしてかぶりたいと思いますか？

私は、かぶっていますが、かぶりたいとは思いません。黄色の安全帽子は、正直格好悪いし、自分の好きな帽子をかぶっても良いのではないかととも思います。

しかし最近、このような記事を見つけました。

「強風で帽子が飛ばされ、車道に出た小学3年男子が車にはねられ重体」

私はこの記事を見つけたとき、寒気がしました。私も強風で帽子が飛ばされ、左右を見ずに飛び出したことがあるからです。

さて、この男の子の帽子はどんな状態だったのでしょうか。ゴムが伸びていたのか。それとも帽子をかぶらずに手で持っていたのか。その時の状態はわかりませんが、自分も同じように帽子が飛ばされてしまったら、同じことになっていたのかもしれないと思いました。

このことを考えたときに、私は改めて身の回りには危険がたくさんひそんでいることを実感しました。

では、今私ができることは何だったのだろうと考えてみました。そして頭に浮かんだのは、二つのことです。

一つ目は、左右の安全を「しっかりと」確認することです。ニュースになっていた男の子は、左右の確認を行わずに車道に出てしまったのかもしれませんが、当たり前のことかもしれませんが、車が通る道に出るときは、左右を確認することが大切だと思いました。

二つ目は安全帽子を「しっかりと」かぶることです。帽子のゴムが伸びている人は直してもらったり、新しい帽子にしたりするとよいです。

また、今まで格好悪いと思っていた安全帽子にも、意味があることに気が付きました。私が格好悪いと思っている大きな理由は、帽子の色が黄色なことでした。しかし、この黄色にも理由があるのではないかと思いました。調べてみると、雨の日でも黄色なら、車に乗っている人も見やすいということが分かりました。だから、黄色帽子をかぶらないといけなないなと思いました。

私は今日、黄色い安全帽子をかぶって、安全に気を付けながら歩きだしました。